

Bison Low Carbon Ventures Inc. への出資について ～トランジション領域における二酸化炭素回収・貯留の取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、丸紅株式会社（社長：柿木 真澄、以下「丸紅」）の出資先であり、二酸化炭素回収・貯留（Carbon dioxide Capture and Storage、以下「CCS」）事業を行う Bison Low Carbon Ventures Inc.（本社：カナダ・アルバータ州、以下「Bison」）との間で株式引受契約を締結し、5百万カナダドルの出資（以下「本出資」）を行いました。本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」（※）によるものです。

2020年に創業された Bison は、カナダ・アルバータ州で CCS 事業の商用化を目指すスタートアップです。Bison が主導する CCS 事業の一つである Meadowbrook CCS プロジェクト（以下、「本プロジェクト」）は、アルバータ州・エドモントン近郊で世界有数の大型 CCS 事業の構築を目指すもので、複数の排出源から年間 300 万トンの二酸化炭素を輸送・貯蓄することを想定しています。2023 年後半より詳細な地質評価を開始しており、今後段階的に貯留能力を拡張していくことを計画しています。

本プロジェクトは、カナダ並びにアルバータ州の 2050 年カーボンニュートラル目標の実現やブルー水素・アンモニア製造などの新規産業の創出による経済発展・雇用創出に寄与するとともに、カナダで日本企業が商用化を目指す初めての CCS 事業となります。

みずほ銀行は、環境・社会の持続性向上に資する領域（トランジション領域）におけるお客さまの挑戦をサポートすべく、シード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）の段階から、トランジション領域にてお客さまが関与するプロジェクト等に戦略的に出資することで、お客さまと機会とリスクを共有し、広く環境・社会の持続性向上に資する社会的価値をお客さまと共創していくことを目指しています。

〈みずほ〉は、CO₂ 排出削減が困難なセクター（hard-to-abate）におけるカーボンニュートラル達成には、CCS 技術及びビジネスモデルの確立が必須と考えており、2022 年 5 月には CCS Global Institute に加盟しております。今般、2023 年 7 月に Bison と株式引受契約を締結し、本事業に参画した丸紅とともに Bison の成長を支援することで CCS の社会実装・普及を後押しし、排出削減が困難なセクターの CCS 技術利用による脱炭素化に貢献できると考え、本出資に至りました。本出資を通し、CCS 技術知見・業界知見を更に向上し、今後開発が進む日本及び世界の CCS 開発プロジェクトへの関与を深めることで、2050 年カーボンニュートラルの達成に挑戦していきます。

※トランジション出資枠：

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域に関する産業知見や環境技術知見を最大限に活用し、戦略的な出資判断を行うと共に、機動性を確保。

<Bison 概要>

会社名 : Bison Low Carbon Ventures Inc.
本社所在地 : カナダ・アルバータ州
設立 : 2020 年
代表者 : Matthew Brister
事業内容 : 二酸化炭素回収・貯留事業の開発

<本件に関連するプレスリリース>

2022 年 5 月 27 日「Global CCS Institute への加盟について」

https://www.mizuho-fg.co.jp/release/20220527release_jp.html

以 上